

# 公立保育園再整備に係る機能・設備の検討について

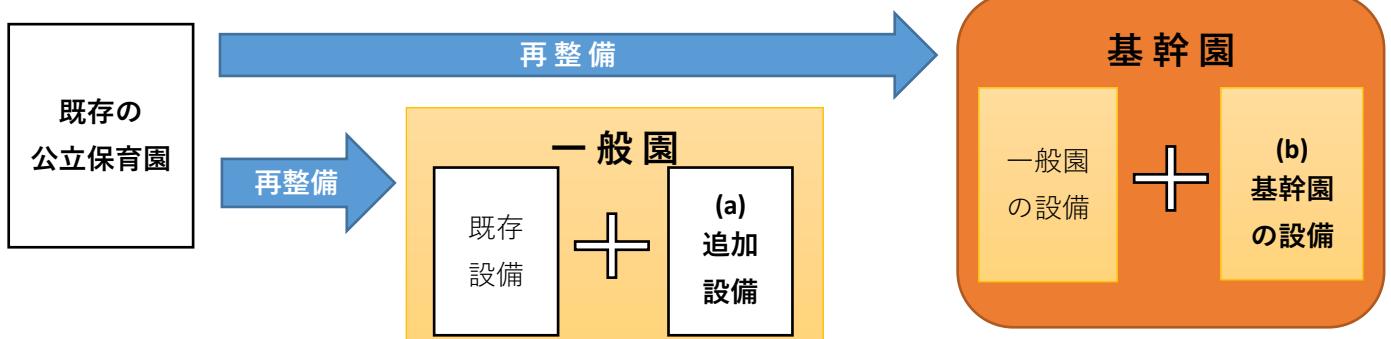
資料8別紙

## 1 柏市保育のあり方に関する基本方針とのつながり

令和5年3月に策定した「柏市保育のあり方に関する基本方針」に沿って、再整備する際の公立保育園の機能及び設備を検討しています。

柏市保育のあり方に関する基本方針(抜粋)	検討案
<p>①多様化する保育ニーズへの対応について 《基本方針》 ○ 増加する保育需要へ対応するとともに、<b>多様な保育ニーズへの対応</b>を検討します。</p>	<p>➢<b>障がい児保育</b> 全ての公立保育園で実施 (柏市においては、認可保育園等の全てで実施) ➢<b>医療的ケア児保育、一時預かり、子育て支援センター</b> 地域の状況に合わせて実施を検討(多機能化) ※国が検討中の「誰でも通園制度(仮称)」の動向にも留意しつつ検討を進める</p>
<p>②保育人材確保及び保育の質の向上について 《今後の取組み》 ◇ 公立保育園基幹園の設置 将来的には、公立保育園の一部を基幹園として位置づけ、<b>地域における保育のコーディネーター(調整役)</b>としての機能を持たせ、地域の保育園等との連携を深め、互いに協力することで地域の「保育の質」を向上させることを検討します。</p>	<p>➢<b>基幹園</b> 地域との調整役機能を持たせた園 ➢<b>一般園</b> 基幹園以外の園を一般園として位置づけ ※再整備する園を基幹園とする場合は、地域との調整役機能に必要な設備の設置を検討する</p>
<p>③変動する保育需要への対応について 《今後の取組み》 ◇ 公立保育園の役割 公立保育園の役割として、地域の保育の調整役となる基幹園としての機能、地域の保育園等の定員数を調整する機能、<b>地域の保育に関するセーフティネットとしての機能</b>を持たせることを検討します。</p>	<p>➢<b>緊急時における他園園児の受入機能</b> 基幹園を中心に、地域の保育に関するセーフティネットとしての機能を持たせることを検討する</p>

## 2 公立保育園の一般園・基幹園の設備の検討



### (a) 追加設備

“既存の公立保育園”の設備に、以下の設備を追加して保育しやすい環境を整備することを検討

設備	目的
クールダウンスペース	特別な支援が必要なお子さんが落ち着くためのスペース
多目的室	お子さんの特性に合わせた個別保育の実施や、職員の事務スペースなど多目的な利用
相談室	保護者との相談の際のプライバシーを確保
エレベーター	車いすを利用するお子さん等の円滑な移動に配慮

### (b) 基幹園の設備

“一般園の設備”に、以下の設備を追加して、**地域の調整役・セーフティネットとしての機能**を持たせることを検討

設備等	目的等
会議室・研修室	地域の保育園等との連携の場として使用。緊急時は保育室として他園園児を受入れ
公開保育対応	研修方法の一つである公開保育が実施できるような設え(廊下幅拡張等)
災害対応機能	防災用品の備蓄庫、宿泊機能等、災害時の保育に必要な設備を検討